

京堆肥

株式会社 ヨードクリーン



剪定・伐採後の枝葉を原料とし、自然の発酵菌（白色腐朽菌など）の力のみで作った土壌改良資材。樹皮を原料とするバーク堆肥や、落葉を原料とする腐葉土と異なり、多種多様な樹木の葉を中心に、枝、新芽、落ち葉など樹木のさまざまな部分を偏りなく含んで堆肥化している。そのため、土壌改良効果の実感が早いと好評。

ECO スタイル 原材料

京都市内の神社仏閣、有名庭園、街路樹、個人宅の庭などの手入れの際に出る剪定・伐採枝葉を原料としている。

ECO スタイル 製造・流通段階

枝葉を粉碎し、自然の発酵菌によって堆肥にしているため、発酵促進剤は一切使用していない。堆肥過程に必要な水分は雨水を使用し、発酵促進のための熱源も堆肥発酵時に発生する熱を利用。

ECO スタイル 使用段階

たくさんの微生物が生きているので、植物栽培後の硬くなった培養土などに当製品を混ぜ合わせることで、植物の生育に適した団粒構造を持つ土壌に改良することができる。

ECO スタイル 廃棄段階

微生物などに分解され、植物の生育に必要な養分となるため、廃棄物とならない。

●土壌改良材だけでなくマルチング材としても活用
マルチングとは、地表面の飛散・流芒の防止、雑草の生育抑制、保温・保湿による植物生育の促進のために地表面を覆うこと。ビニールや紙のマルチング材とは異なり、剪定枝葉堆肥の場合、表面に敷くだけで土壌改良材としての効果を発揮するため、取り除く手間も省け、使用後に無駄なゴミが出ない。自然の力で雑草の勢いを抑え、地表面からの水分蒸発を防ぎ、高い保水性を持つので水やりの回数の減少にも効果がある。

株式会社 ヨードクリーン

所在地
京都市西京区樫原盆山 15-1
リーファーストビル

TEL
075-381-0057

FAX
075-393-8623

URL
http://yodo-clean.co.jp/

E-mail
yodo-clean@k2.dion.ne.jp